

新型コロナウイルス感染防止対策等における留意事項

1 入場について

まん延防止等重点措置期間の会場借用であるため、会場校の要望を最優先します。

- (1) チーム責任者は保護者からの参加同意書を得て、大会当日、本部に提出すること。
- (2) 試合チームおよび補助員のみ入場を許可する。
- (3) 各チーム入館は、試合ごとに人数制限する。
(選手12名以内、スタッフ3名以内、保護者1名以内、他は入館しない)
- (4) 原則、各学校まとまったの入退館・移動とする。
- (5) 外履きを置く場所は設置せず、外履きを入れるための袋を各自準備する。
- (6) 体育館内には荷物置き場を設けるが、待機場所は確保しない。

2 会場について

- (1) 会場出入り口に消毒液は常設しない。各チームで消毒液を準備し消毒を行うこと。
- (2) 窓は開放しておき、常時換気ができるようにする。
- (3) カーテンは直射日光が入らない限り、常時開放しておく。
- (4) 会場内では、原則マスクを着用する。ただし、コート内の選手は除く。
- (5) 湯茶等の準備はしない。チームは会場内で昼食をとらない。
- (6) ゴミは各自で持ち帰る。

3 競技等について

- (1) 開始式は行わない。
- (2) 試合前後は必ず手を洗う。
- (3) ベンチに設置する椅子は3脚のみとし、コートチェンジの際、3脚とも移動する。
- (4) 試合開始時・終了時のあいさつは、エンドライン・アタックライン上で行う。
- (5) 作戦タイム時等の給水は、回し飲み、タオルやコップの使い回しはしない。
- (6) 試合終了後、すぐに当該チームでベンチ等の消毒を行う。
- (7) 試合間は、用具等の消毒等を行う。

4 その他

- (1) 待機する保護者も密にならないよう、間隔を十分に確保する。
- (2) 大会開催にあたっては、様々な準備・対策・配慮があることを忘れず、参加者・応援者は新型コロナウイルス感染拡大防止に努めて下さい。

審判上の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応策

- ① 審判団は、主審1名・副審1名・ラインジャッジ4名・点示2名・ボールコレクター2名で行う。(スコアラーは、副審と近距離での接触が考えられるため採用しない。
【相互審の場合は、ラインジャッジ各2名・点示各1名・ボールコレクター各1名】
【チームの選手が7名の場合は、ラインジャッジ4名・点示1名・ボールコレクター2名】
【チームの選手が6名の場合は、ラインジャッジ4名・点示1名・ボールコレクター1名】
- ② 主審副審は、マスクの下に笛をくわえる。電子ホイッスルは、使用しない。
(電子ホイッスルは、音が小さいことと、複数面では音を聞き分けにくいいため。)
- ③ ラインジャッジ、点示員はマスク着用。
ボールコレクターは、マスク・ゴム手袋を着用する。
(ボールコレクターのゴム手袋・ボール拭き用タオルは各チームで準備する。)
- ④ ボールは、ワンラリー毎にボールコレクターを経由し交換する。
2ボールシステムで、副審後方の両サイドにボールコレクターを配置し、スムーズな運営につとめる。消毒液のタオルへの塗布は「試合前」「13点」「セット間」のみとする。
- ⑤ 試合中コート上でプレーするとき以外は、アップの際も(公式練習も含め)マスクを着用する。選手・スタッフ・審判団すべて。
- ⑥ コート内外問わず、大声を出したり、円陣を組んだり、ハイタッチはしない。
(試合前・セット間・タイムアウト時のみ、ベンチでの集合を認める。但し、指示のみとし掛け声やパフォーマンス等は行わない。)
- ⑦ 各セット13点で、給水のためのタイムアウトを1分間の中断を設け、給水及び手指消毒を行う。
- ⑧ チェンジコートの際は、椅子を全てチームで移動する。

※各チームへご負担をおかけしますが、絶対に感染者を出さず、より安心安全に継続して大会を開催・運営していくためですので、ご理解いただきご協力をお願いします。